

新たな一次製品の創出に向けた農産物の 試作支援

予算額：100,000円 執行額：0円

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（ア 藤沢ブランドとなる新たな一次製品の創出）

- ▶ 令和5年1月30日に審査会が開催され、「湘南土ねぎ（さがみ）」が「かながわブランド」に新規登録されました。生産者3名が栽培した生で食べても柔らかく、甘味のあるネギです。土の付いた薄皮を取らずに袋詰めすることで鮮度を保ち、みずみずしく新鮮な状態で消費者に提供されています。

登録団体：六会葱組合



湘南土ねぎ（さがみ）

未利用魚を活用した加工品の開発支援及び学校給食での活用検討①

2

予算額：100,000円 執行額：85,989円（給食用煮干し）
計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援、ウ 未利用魚の認知度向上）
P.43【重点】(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化（イ 藤沢産農水産物等の利用促進）

- ▶ 市場において、低い価格で評価されてしまうカタクチイワシを市内漁業者に煮干しに加工していただき、小学校給食で活用しました。
- ▶ 煮干し代金と各学校への仕分け・配送費用を実行委員会予算で負担しました。令和5年度以降も継続使用する予定です。その際に費用は原則として給食費で賄われます。
- ▶ 煮干しに加工することにより保存が可能となり、出汁として使用することにより、1食あたりの規格統一を図るとともに、骨が起因となるトラブルを回避しました。



片瀬小学校で提供した給食



未利用魚を活用した加工品の開発支援及び学校給食での活用検討②

予算額：100,000円 執行額：240,000円（学校給食での活用）
100,000円（サバの水煮試作）（予定額）

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援、ウ 未利用魚の認知度向上）
P.43【重点】(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化（イ 藤沢産農水産物等の利用促進）

- ▶ 江ノ島沖の定置網で漁獲される、400gに満たない低価格で市場取引されてしまうサバについて、付加価値の向上を図るために加工することについて、加工業者・配送業者・江の島片瀬漁協・学校給食課と協議しました。
- ▶ 小学校給食での活用促進を図るため、8,000食分（小学校12校分）の原料費を実行委員会予算で負担することとしました。
- ▶ 加工品開発支援として、「サバの水煮」を試作するための費用を実行委員会予算で負担することとしました。



小田原の加工場の様子

藤沢産農産物を利用した加工品の開発支援

予算額：100,000円 執行額：83,710円（予定額）

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援）

- ▶ 米の価格が下落している一方で、肥料などの生産資材高騰が長期化しており、生産費が米の販売価格を上回り、米作りの継続が困難になっているから、藤沢産米に付加価値を付ける取り組みとして、酒米の生産を支援しました。
- ▶ 酒米は、茅ヶ崎の蔵元「熊澤酒造」に買い取られ、一部は2月4日から販売された日本酒に使われました。現在、全量藤沢産酒米の日本酒の仕込みが始まっており、6月ごろに販売される予定です。
- ▶ 完成した日本酒については、市内の地酒専門店のほか、さがみ農協直売所などで販売を予定しているほか、ふるさと納税返礼品への登録を検討し、内外に藤沢産をアピールします。



6月（田植え）

7月（生育調査）

8月（生育調査）

9月（稲刈り）



2月4日に販売された日本酒

藤沢産農産物を利用した加工品の開発支援

予算額：100,000円 執行額：86,700円（一部予定額）
計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤
沢産農水産物を利用した加工品の開発支援）

- ▶ 付加価値を高め、6次産業化の取組を推進するため、藤沢マイスターの茶師と協働し、「サツマイモ」を「干し芋」に加工する取り組みを支援しました。



お茶でサツマイモを茹でる様子



サツマイモを減圧乾燥する様子

小学校でのふりふりバター体験事業

予算額：50,000円 執行額：11,122円

計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進)】

- ▶ 小糸小学校において、市内で搾乳された牛乳等を使用したバターづくり体験事業を実施し、市内畜産業への理解促進、地産地消及び食育の推進を図りました。
- ▶ 同日にやまゆりポーク生産者協議会と連携し、畜産の授業も行いました。



小糸小学校での授業の様子



保育園児との交流に係る講師謝礼

予算額：20,000円 **執行額：10,000円**

計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進、オ 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用)

- ▶ またの保育園に生産者を招いて講義を行い、園児との交流を行いました。
- ▶ またの保育園への藤沢産農産物の提供は今年で3年目ですが、生産者と園児の交流は今回が初めての取り組みです。
- ▶ 実物の稲に触れる体験や動画視聴を通じ、園児にもわかりやすい講義をおこないました。



俣野保育園での講義の様子

地産地消イベント事業 藤沢産オーガニックマルシェ ふじさわ元気バザールなど

予算額：350,000円 **執行額：310,145円【オーガニックマルシェ分】**
計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

予算額：70,000円 **執行額：143,262円【元気バザール分等】**
計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

- ▶ 「みどりの食料システム戦略」において、有機農業の取組面積を拡大することを目標にしており、本市においても同様に拡大することを「第2次藤沢市都市農業振興基本計画」の目標としているため、有機農業に着目したマルシェを開催しました。
- ▶ 開催日時：2022年11月26日（土）10時から15時まで
- ▶ 開催場所：辻堂神台公園 来場者数：523人
- ▶ マルシェ開催に合わせ、藤沢市の有機農業者を紹介するリーフレットを作成しました。



開催の様子



リーフレット

花育体験イベント事業 PR用花き等購入費

予算額：70,000円 執行額：96,470円【花育体験イベント分】

計画の位置付：P.47【重点(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア
新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催、イ
生産者と消費者の交流イベント等の開催）

予算額：100,000円 執行額：100,000円（一部予定額）【PR用花き分】

計画の位置付：P.47【重点(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア
新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

- ▶ 子どもを対象に花の寄せ植え体験を実施し、寄せ植え体験と生産者との交流を通じて、藤沢の花きに対する知識や理解を深めてもらうことにより地産地消の推進を図りました。

開催日：2022年12月1日 参加者：小中学生27名とその保護者 場所：藤沢市役所芝生広場

講師：花き生産者2名

- ▶ 市役所本庁舎等において、季節の藤沢産花きを展示し、PRを行いました。



開催の様子



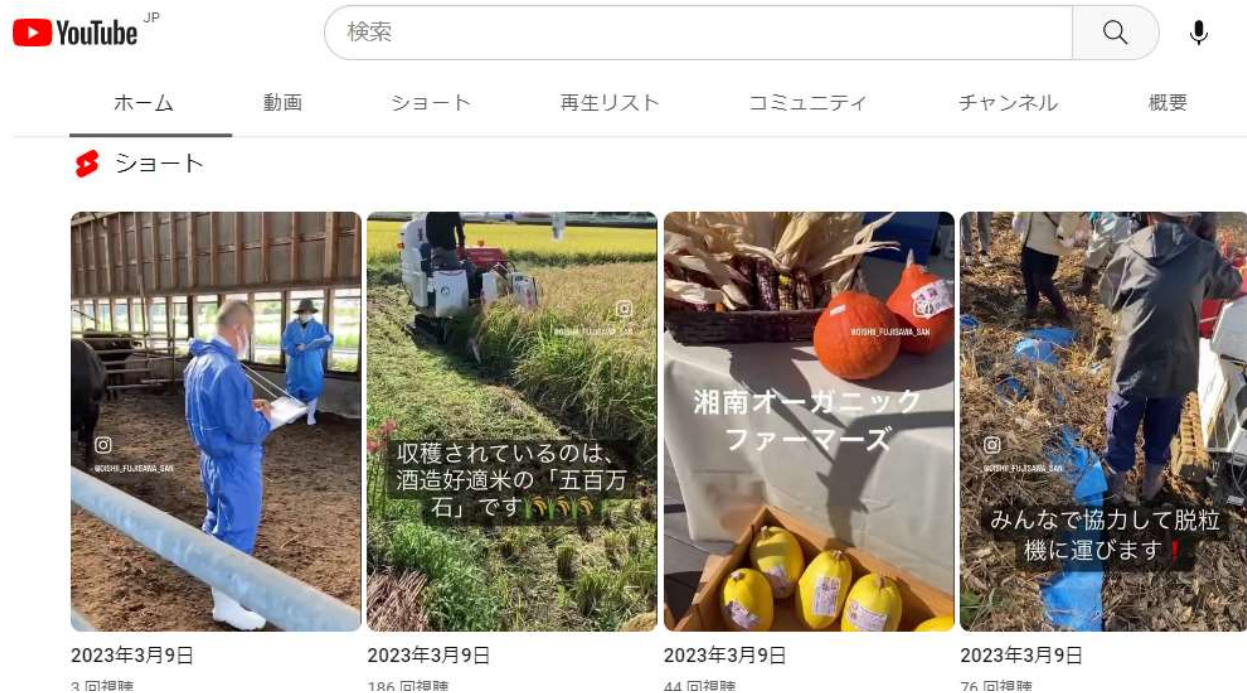
展示の様子

PR用動画作成

予算額：371,000円 **執行額：0円**

計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

- ▶ 動画作成の外注については、高額な作成費用がかかるため実施しませんでした。
- ▶ YouTubeには事務局職員がスマートフォンで作成したショート動画を4本を投稿しました。
- ▶ 今後のYouTubeについては、引き続きスマートフォンで作成可能な簡易なショート動画を投稿しつつ、特に動画でPRが有効と考えられる場合には、外注での作成も検討します。



- ▶ 市広報シティプロモーション課と連携し、市の広報番組に「おいしい藤沢産」を取材していただきました。
- ▶ 酒米の取り組みも取材していただき、日本酒の販売に合わせて、放送する予定です。
- ▶ 市の広報番組は放送翌日、YouTubeに公開されます。

藤沢産利用推進店PR用「食べ歩きマップ」の作成

予算額：100,000円 執行額：171,050円（予定額）

計画の位置付：P.49【長期】(1)藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策（工 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化（ア） 藤沢産利用推進店の充実）

- ▶ 「藤沢駅周辺版」「片瀬江ノ島駅・鵜沼海岸駅周辺版」がニーズが高く、年度途中で在庫が無くなったため、内容を最新に更新するとともに、増刷しました。
- ▶ 増刷にあたり、「藤沢駅周辺版」「片瀬江ノ島駅・鵜沼海岸駅周辺版」の英語バージョンを作成しました。
- ▶ 作成した「食べ歩きマップ」はホテルや観光案内所に配架します。
- ▶ 【作成部数】
- ▶ 「藤沢駅周辺版」日本語 2,000部
- ▶ 「片瀬江ノ島駅・鵜沼海岸駅周辺版」日本語 1,500部
- ▶ 「藤沢駅周辺版」英語 500部
- ▶ 「片瀬江ノ島駅・鵜沼海岸駅周辺版」 500部
- ▶ 作成データをおいしい藤沢産HPで公開するなどし、ペーパーレスでの周知にも努めます。



量販店における藤沢産コーナーPR物品

予算額：100,000円 **執行額：145,728円（一部予定額）**
計画の位置付：P.49【長期】(1)藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策（工 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化（イ） 量販店等での藤沢産コーナーの設置促進

- ▶ 地産地消に関するアンケート調査結果によると、「スーパーなどの量販店で藤沢産の農水産物を販売する」ことが求められており、地産地消コーナーを設ける量販店も増加していることから、PR物品を作成し、藤沢産コーナーの設置促進を図りました。
- ▶ 新たにPR物品を設置した（設置予定）の量販店
 - ▶ スーパー生鮮館タイガ藤沢石川店
 - ▶ ヨークフーズ藤沢六会店
 - ▶ ヨークフーズ辻堂太平台店
 - ▶ イトーヨーカドー湘南台店
 - ▶ ユーコープ湘南台店
 - ▶ ヤオコー 藤沢柄沢店



今年度作成したPOPのデザイン